

B-155 女子学生の衣生活教育と行動についての実態調査
茨城大家政 徳蔵きみ

目的 衣生活教育とくに被服構成学関係教科における学生の受講傾向について、教員養成学部家政科学生と一般短期大学家政科学生間の実態と意識、および他学科学生の衣生活についての実態と意識についての実態調査を行ったので報告する。

方法

教員養成学部は茨城大学教育学部家政科生60名(専攻生・選修生含)、一般短期大学は茨城キリスト教短期大学家政科生60名(被服・食物栄養含)より他学科生は上記同大学から無作為で選出された女子学生各60名を対象とし質問紙法を用いた。

結果 教員養成学部学生は入学時より教員志望者が多くそのため、教員としての受講傾向がよくみられ、また短大学生は多目的志向者が多いための特徴が受講傾向にも現われている。衣生活面について、家政科学生、他学科学生の实態および意識にそれぞれの特徴ある結果を得た。